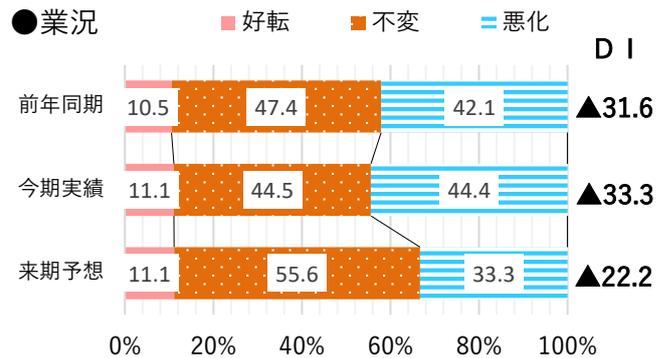


# 運輸・倉庫業

## 業況、売上、採算

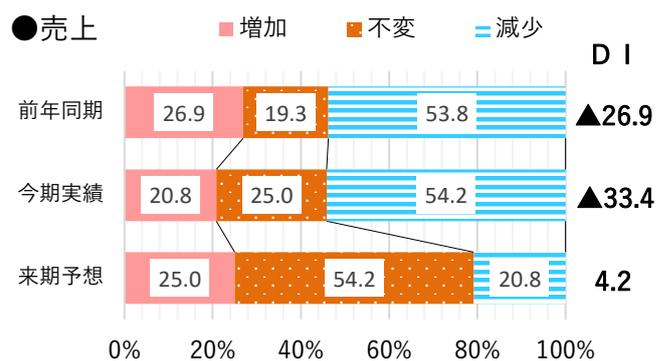
今期（2021.1～3）の業況判断DIは▲33.3で、前年同期（2020.1～3）と比べ1.7ポイント低下しました。

来期（2021.4～6）は、業況の悪化傾向が弱まると予想しています。



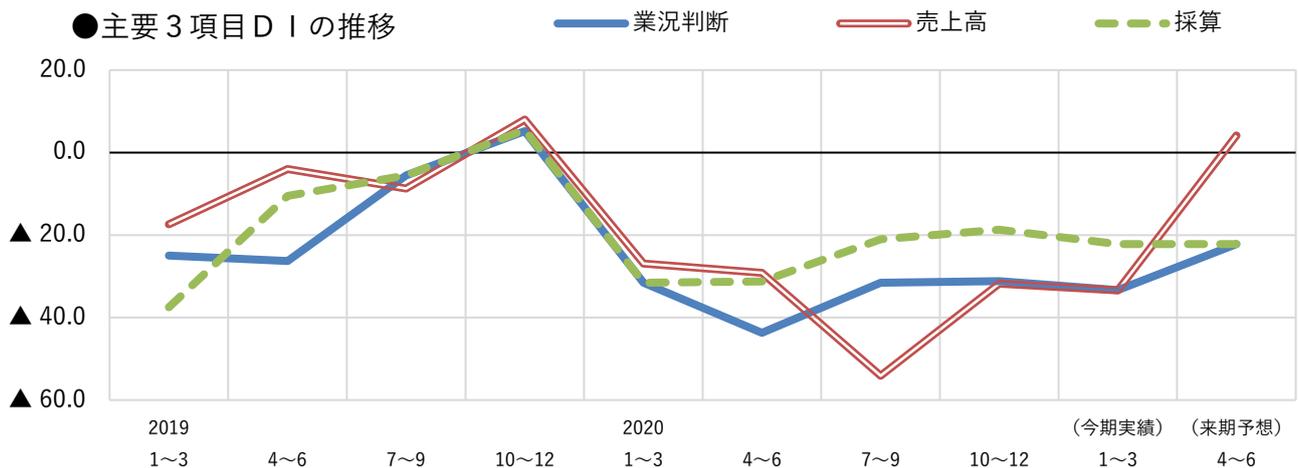
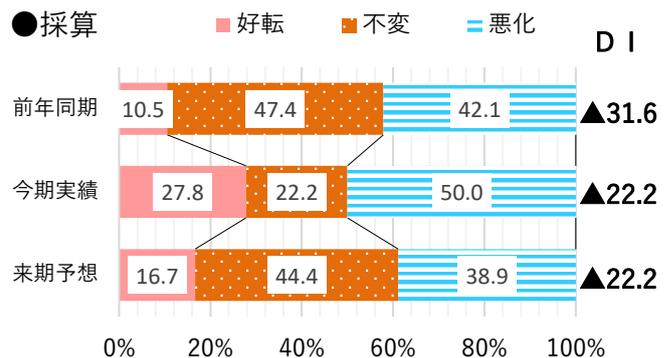
今期の売上高DIは▲33.4で、前年同期と比べ6.5ポイント低下しました。

来期は、売上が増加に転じると予想しています。



今期の採算DIは▲22.2で、前年同期と比べ9.4ポイント上昇しました。

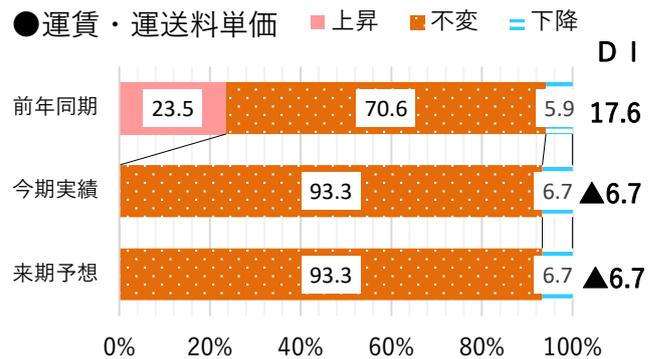
来期は、採算の横ばいを予想しています。



運賃・運送料単価、保管料単価

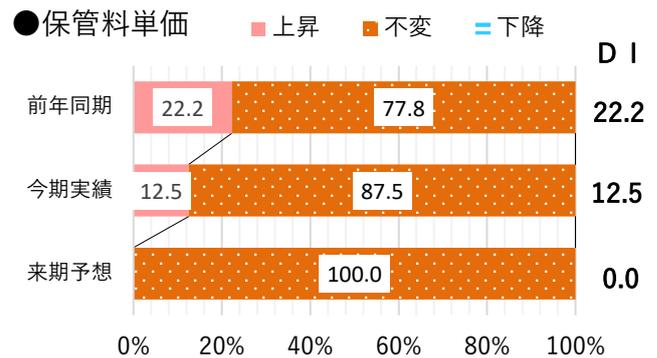
今期の運賃・運送料単価DIは▲6.7で、前年同期と比べ24.3ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、運賃・運送料単価に変化はないと予想しています。



今期の保管料単価DIは12.5で、前年同期と比べ9.7ポイント低下しました。

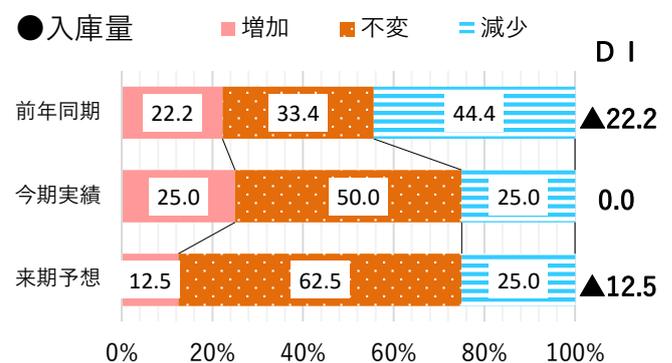
来期は、保管料単価に変化はないと予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

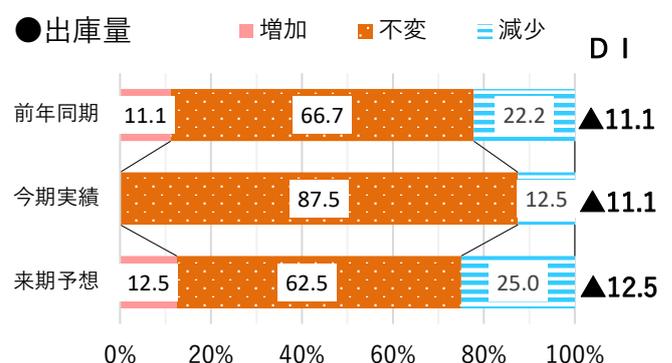
今期の入庫量DIは0.0で、前年同期と比べ22.2ポイント上昇しました。

来期は、入庫量が減少に転じると予想しています。



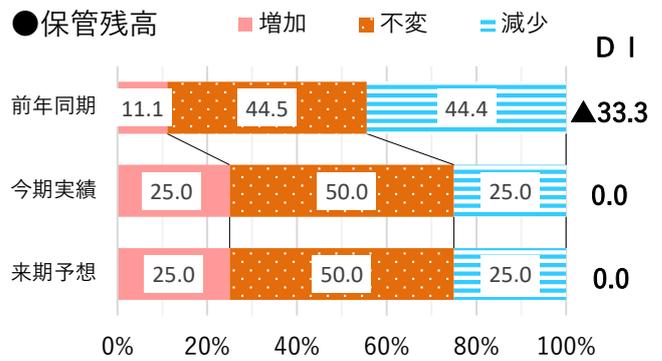
今期の出庫量DIは▲12.5で、前年同期と比べ1.4ポイント低下しました。

来期は、出庫量に変化はないと予想しています。



今期の保管残高DIは0.0で、前年同期と比べ33.3ポイント低下し、大幅に減少しました。

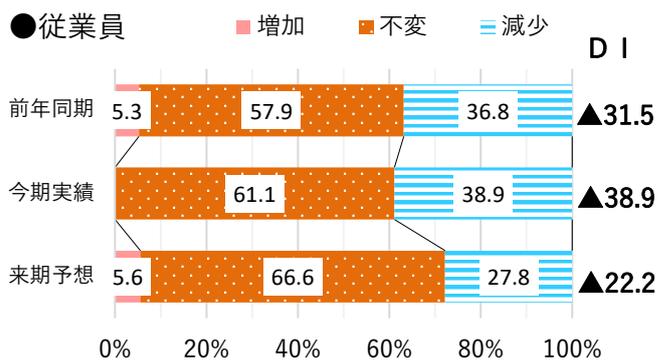
来期は、保管残高に変化はないと予想しています。



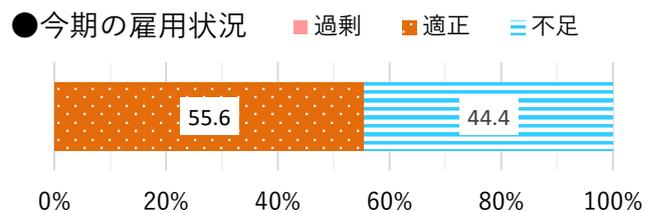
### 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲38.9で、前年同期と比べ7.4ポイント低下しました。

来期は、従業員の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は55.6%、不足していると回答した企業の割合は44.4%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、運輸・倉庫業全体の38.9%を占めています。

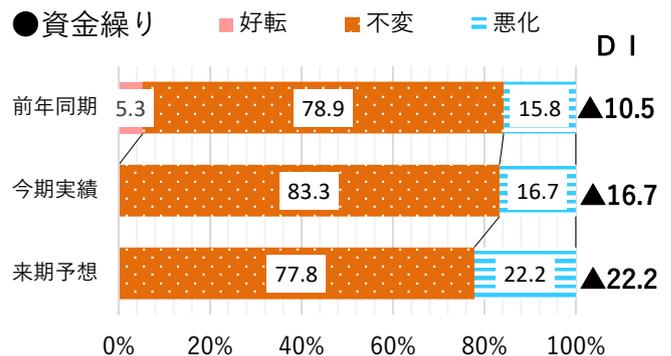
次いで多かったのは「従業員数は前年同期で変わらず、不足している」、「従業員数は前年同期比で減少し、不足している」（同位）という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	7
	不足	4
減少した	過剰	0
	適正	3
	不足	4

資金繰り、設備投資

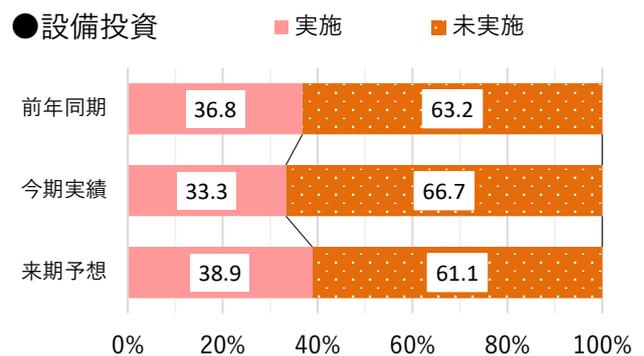
今期の資金繰りDIは▲16.7で、前年同期と比べ6.2ポイント低下しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が強まると予想しています。



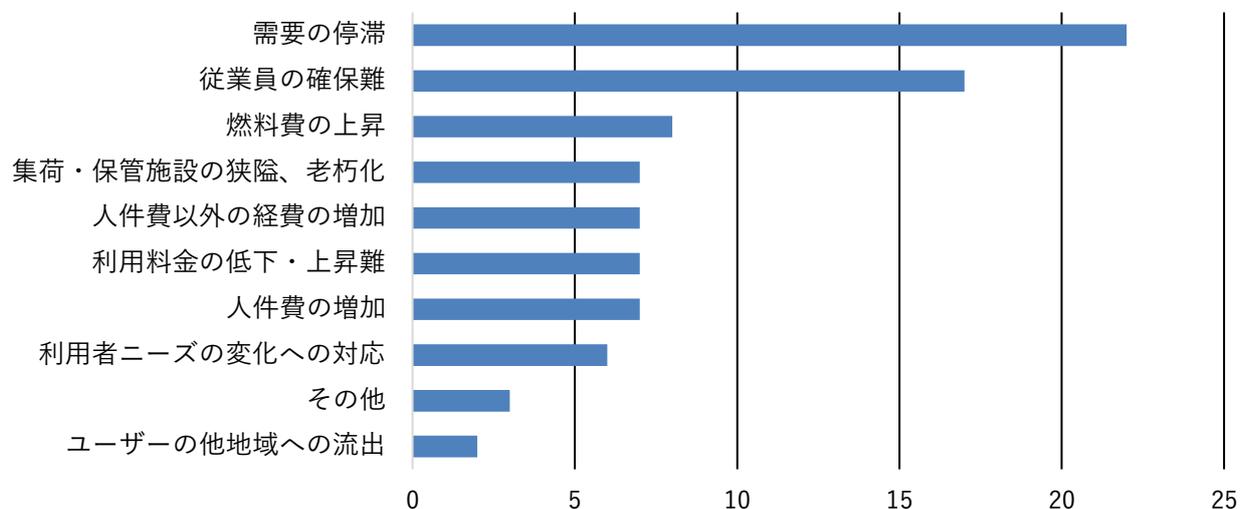
設備投資を実施した企業の割合は33.3%で、前年同期と比べ3.5ポイント低下しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「建物」、「付帯施設」、「OA機器」（同位）の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は38.9%で、増加を予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」、2位が「従業員の確保難」、3位が「燃料費の上昇」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 売上は前年同期と変わらなかった。1月は人材不足だったが、2月に確保できた。(道路貨物運送)
- ホテルやマンションの建設関連需要が停滞したため、運輸量と売上が減少した。(道路貨物運送)
- 燃料費が上昇傾向にある。緊急事態宣言以降、荷物の量が減少した。(道路貨物運送)
- 例年、冬期は閑散期だが、今期は業務量が変わらなかった。(道路貨物運送)
- 売上が増加した。(道路貨物運送)
- 売上の低迷、人員不足、燃料費の高騰が課題である。(道路旅客運送)
- 非常に厳しかった。(道路旅客運送)
- 新型コロナウイルスの影響で、旅客と貨物の減少が続いている。(水運)
- 冷凍水産物の入庫量が減少し、売上が減少した。(倉庫)
- 入出庫量が減少し、売上が減少した。(倉庫)
- 入庫量が減少した。(倉庫)

[来期の業況について]

- 北海道新幹線関連は引き続き需要が見込まれるが、その他は不透明である。(道路貨物運送)
- 受注はあるので、例年並みの業況を見込む。(道路貨物運送)
- 燃料費の上昇が見込まれる。(道路貨物運送)
- 燃料費の上昇が続く。(道路貨物運送)
- 売上の低迷、人員不足、燃料費の高騰が続くと思われる。(道路旅客運送)
- 景気の回復を願う。(道路旅客運送)
- 新型コロナウイルスの影響が続くと思われる。燃料価格の上昇が懸念される。(水運)
- 今期同様に、入出庫量の減少によって売上が減少すると思われる。(倉庫)
- 入庫量の減少と出庫量の増加を見込む。(倉庫)